

びわこジャズ東近江の歩み

びわこジャズ東近江は、2009年に「びわこジャズフェスティバル in 東近江」として始まりました。

第1回は地元経済団体の記念事業としてスタート。回を追うごとにステージ会場を増やし、演奏だけでなくサブ会場のフリマや地元企業ブース、歩行者天国、地域スポーツチームとのコラボ、前夜祭など、様々な試みを通じて現在の原型を形作っていきました。第3回開催直前には東日本大震災が発生。こんなときだからこそ盛り上げようと奮起し、被災地への募金活動や、楽器の寄付活動も行いました。

第1回 2009年
4月5日(日)



第2回 2010年
4月18日(日)



第3回 2011年
4月24日(日)



これまでのノウハウを結集し
2日間開催へ。

先輩の他府県のジャズフェスに倣って、第4回から2日間開催になりました。第5回では、未来を担う若者たちの音楽のレベル向上をめざした10代メンバー限定のコンテスト「ティーンズバトル」を初開催。ダンスステージ、てづくり市などの企画もこの頃から始まりました。

第4回 2012年
4月14日(土)・15日(日)



第5回 2013年
4月20日(土)・21日(日)



第6回 2014年
4月19日(土)・20日(日)



第7回 2015年
4月18日(土)・19日(日)



第8回 2016年4月23日(土)・24日(日)

名称を現在の「びわこジャズ東近江」に改め、新たなスタートとなりました。市制10周年イベントとの共催や、プロミュージシャンの指導で県内高校生がステージを作り上げる「夢のビッグバンドプロジェクト」など新たな試みも行われました。開催直前に発生した熊本地震への募金箱も設置し、来場者の皆様のたくさんの善意を集めることができました。2日間でのべ40ステージ、200組のバンド、約35,000人のご来場をいただきました。



第9回 2017年4月22日(土)・23日(日)

「Share(共有)」を合い言葉に、音楽を通じた世代間の交流をテーマにした第9回。来る第10回を前に、特に若い世代に新しい音楽や文化とふれあう機会となるべく、歩行者天国を使った「ストリートチャレンジ」など、これまでに無かった実験的な企画に挑戦しました。エリアにできた新たな店舗での特設ステージや、ナイトステージも拡充し、昼だけではなく、夜の時間のにぎわいをも作り出すことができました。2日間でのべ50ステージ、230組のバンド、約38,000人のご来場となりました。



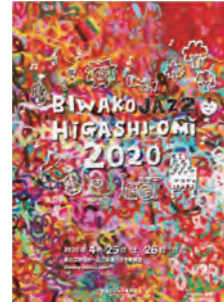
第10回 2018年4月29日(日)・30日(月)

記念すべき第10回は、「Arrival & Departure」をテーマに、これまで10年もの間、当イベントを作り上げていただいた皆様への感謝と、これからのびわこジャズ東近江と東近江市の10年を考える回として、世界的なジャズイベントの「International Jazz Day」にあわせて開催日をゴールデンウィークに設定し、2日間でのべ50ステージ、240組のバンド、ボランティアは650名、約40,000人にご来場いただきました。



第11回 2019年4月28日(日)・28日(月)

平成最後のびわこジャズ東近江。“Hang Out”をテーマに、1日目は新たな企画として本町通りで「パンフェスティバル」を開催、2日目はテレビ番組の連動企画など、記念の第10回を数えた前回に続く新たな一歩を踏み出すこととなりました。最後のグランドフィナーレのみ雨天により中止となりましたが、2日間でのべ約20組の出演者、約500人のボランティアスタッフの皆様のご協力により、約30,000人の来場者となりました。



第12回 2020年4月25日(土)・26日(日)

第13回 2021年6月5日(土)・6日(日)

→9月19日(日)・20日(月)に延期

新型コロナの影響により開催中止



第14回 2022年9月24日(土)・25日(日)

新型コロナウイルスによる2回の中止を経た第14回。テーマを「再発見」とし、万全の感染対策で、例年と変わらない開催規模を目指して、開催時期もコロナの波を見据えて初の秋開催としました。ジャストレインも復活し、2日間でのべ、ステージ数39、約200組の出演者、ボランティア参加者約300名、約35,000名にご来場いただきました。



BIWAKO JAZZ HIGASHI-OMI 2022 びわこジャズ東近江

BIWAKO JAZZ HIGASHI-OMI

第14回テーマ
“再発見”

事業報告書

「第14回 びわこジャズ東近江」にご協賛賜りました企業様、運営にご協力いただきました皆様、出演者の皆様、誠にありがとうございました。

コロナ禍の影響によりやむなく開催中止となった2020年、2021年を経て、滋賀県の指針に従った感染症対策を万全に準備してまいりました。

決してコロナ禍の脅威がクリアになったとは言い切れない状況や、タイミングの悪いことに台風も接近していた状況から来場客の動員やスタッフ確保に不安はゼロではなかったものの、結果的に来場客数は延べ約35,000人、出演者は約200組、ボランティアスタッフは約300人と、おかげさまでびわこジャズ東近江を盛大に開催する事ができました。

両日とも気持ち良く晴れ、用意していた公式Tシャツが初日に完売するなど、実行委員会としましてもこれまでに経験したことのないペースで市内外、県外、さらには国外からの来場客で賑わい、特に大きなトラブルもなく無事全日程を予定通り終える事ができましたのは、ひとえにご協力をいただいた皆様のおかげであると心より感謝しております。

長いコロナ禍を経て、音楽は私たちに感動や心の安らぎ、生きる喜びをもたらす人生において必要不可欠なものであると改めて気づかせてくれました。そうしたことから本年の開催テーマを「再発見」とし、音楽の力で、人とまちのつながりを取り戻し、まちを盛り上げる一翼を担うイベントとなり、このまちに「びわこジャズ東近江」があって良かったなと思っていただけのように取り組みましたが、そうすることを目標とできる規模にまでイベントが成長してこれたのは、皆様からのご愛顧とご支援によるものに他なりません。引き続き、音楽を通じて地域の活性化のお役に立てるよう、良かった点は伸ばし、反省点は真摯に受け止め、これらの経験を次への糧としてより良いイベントとなるよう努力してまいります。今後とも皆様方の変わりないご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

びわこジャズ東近江 実行委員一同

■決算報告

収入の部

科目	決算額	備考欄
前年度繰越金	403,346	
協賛金	5,695,000	地元企業、商店、団体など(広告&パナー)、出演協力金
イベント収入	708,705	グッズ販売等
その他収入	1,443,633	フードコート等出店料・テントレンタル料、会場募金など
合計	8,250,684	

支出の部

科目	決算額	備考欄
設営費	1,690,870	会場設営関係費等
音楽関係費	3,064,218	PA費、レンタル費、調律、出演費等
広報費	1,667,795	パンフレット、チラシ作成費、広報活動費等
事務費	1,445,554	会議費、事務関係費、運営関係費等
合計	7,868,437	

次年度繰越金	382,247	
--------	---------	--

〈問合せ先〉 びわこジャズ東近江 実行委員会 事務局

〒527-0074 滋賀県東近江市市辺町2866 TEL: 0748-25-0125 FAX: 0748-25-0124

ウェブサイト <https://biwako-jazzfes.com>

facebookページ <https://www.facebook.com/biwakojazz/>

実行委員募集中

びわこジャズ東近江実行委員会では次回開催に向けて実行委員を募集しています。活動内容など詳しくは事務局または実行委員までご連絡ください。ウェブサイトやFacebookでもお問い合わせいただけます。

第14回 びわこジャズ東近江 開催データ

日時／9月24日(土) 11:00～
25日(日) 12:00～

会場／近江鉄道八日市駅～東近江市役所周辺

出演バンド／約200組(2日間のべ)

ボランティア数／約300人(2日間のべ)

来場者数／約35,000人(2日間のべ)

2日間でのべ39か所以上のステージ

駅前ホコテン	カミロコ
アピアセントラルコート	近江酒造
アピアホール	広島外科
アピア研修室	かなめカフェ
本町	トライアングル
パンカフェKOKON	スマイルネット
市役所本館ロビー	松原跡地
ラ・ココット	法務局前ホコテン
滋賀銀行八日市支店	東近江市役所
コミセンホール	市役所横ホコテン
サヤムエラワン	ガチャコンジャストレイン
太子ホール	

